

## 【シンポジウム講演】

## 生理検査におけるリスクマネジメント

松江赤十字病院 検査部

高野 智晴 深田 靖彦

昨今、医療事故が多発し、各医療機関ではその原因追求と防止対策が講じられている。「人は誰でも間違える」(TO ERR is human)といわれるが、医療の現場にあってその間違えは、最悪の場合、患者様の死に直結することになる。医療の一端を担う検査技師としてなんとしてもこのことだけは避けなければならない。

生理検査における医療事故の原因は、①患者確認過誤、②機器の安全管理、③成績の管理、④患者の急変対応、⑤感染、⑥患者への接遇などが考えられる。

当院検査部生理検査室でのリスクマネジメントの試みとしては①リスクマネジメント委員会設置、②電子カルテの構築、③検査マニュアル作成、④ネームバンド、⑤救急法の受講があげられる。

生理検査業務で起こり得る発生要因を予め知り、その防止対策をしっかりと身につけ毎日の業務を行うことが望まれる。

## 当院でのリスクマネジメントの試み

安全推進委員会設置  
電子カルテ  
検査マニュアル作成(医療機能評価機構の受賞)  
ネームバンド  
救急法の受講

## 松江赤十字病院

病床数730床  
職員数1004人  
検査部45人  
生理検査室14人  
生理検査項目、電子カルテ項目34項目

## 生理検査における発生要因と対策

1. 患者確認
2. 機器の安全管理
3. 結果の管理
4. 患者の急変対応
5. 感染予防
6. 患者への接遇

## 患者確認過誤

患者の確認はフルネームで  
本人に「フルネームを名乗ってもらう」  
ネームバンド、および患者スケジュール表にて確認  
電子カルテにて本人の予約状況確認

### 患者確認過誤が起きないように

患者確認のソフトウェアは、手入力による誤りを防ぐために、患者の名前や生年月日などの情報を自動的に読み取り、確認画面に表示します。手入力の必要がなくなり、確認作業が迅速かつ正確に行われます。

### 検査歴と患者の記録確認

過去の検査結果履歴を調べることで、患者の既往症や検査結果を確認し、適切な診断と治療を行うことができます。

### 機器の安全管理

日常点検  
 トラブル対処記録  
 修理、メンテナンス記録

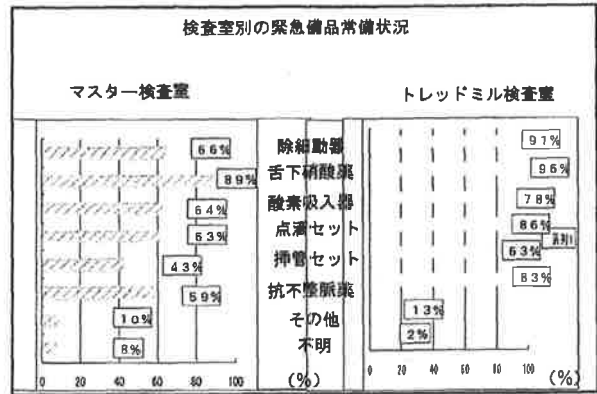
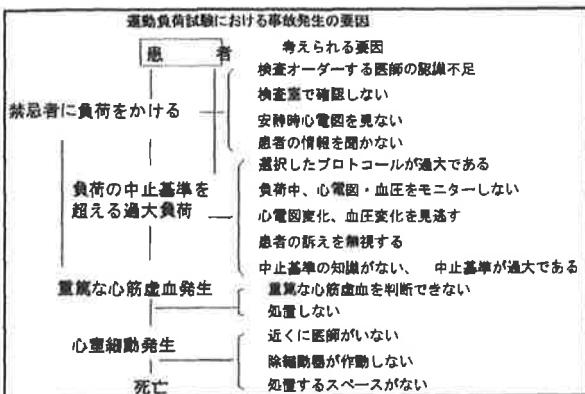
### ENG日常点検チェックリスト

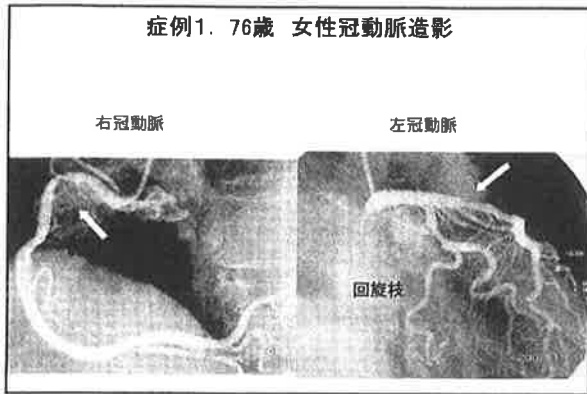
点検項目	点検内容
治療点検	電源設備の点検 フースの点検 記録紙の点検 ENG停止と制動装置の動作確認 ペン圧、ペンの設置の確認 特異電圧およびフィルターの確認
運用中の点検	記録紙の点検 電源設備の確認 電圧の不具合 異常交差検出(ハム) 評価電圧の監視
結果点検	付属品の保管 汚損 その他の点検の発見

### 結果の管理

生理検査の結果(所見・診断)は、手入力、手書きとなることがほとんどのため、入力間違え、貼り間違いのないことを確認するシステムが必要、ダブルチェックが望ましい...

### 患者の急変対応



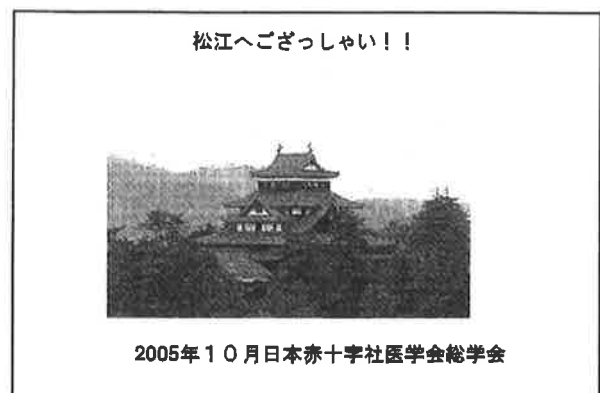
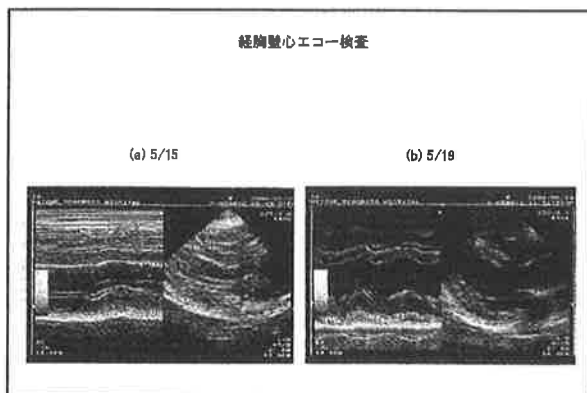
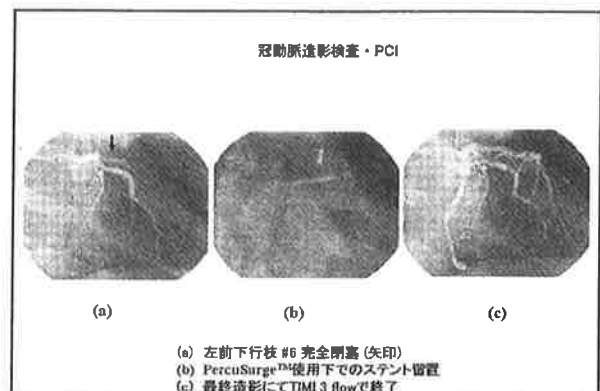
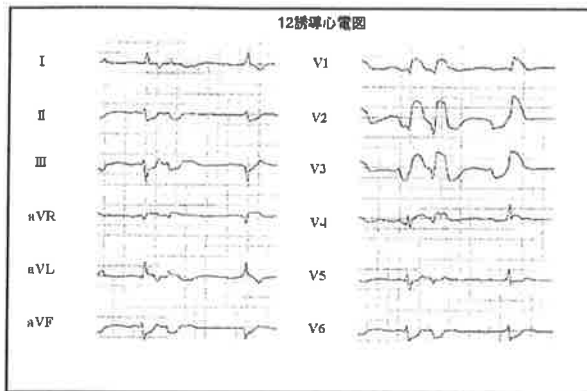


**症例2. 50歳男性**

主訴：胸痛

現病歴：2004年5月15日午前11時30分に胸痛を自覚、安静にて軽快せず近医救急外来へ搬送された。心電図上心房細動であり既往がないことから発作性心房細動による胸部症状と診断。抗不整脈薬を開始しようとしたところ突然ショック状態となり、モニター波形が心室細動であったため体外式除細動器(DC)を使用し除細動試みるも停止せず、数回の除細動で洞調律となった。12誘導心電図を施行し胸部誘導でST上昇を認めたため急性心筋梗塞と診断され当科紹介された。

冠危険因子：高脂血症(未治療)



**患者の状態観察と異常時の対応**

検査実施前・中・後において患者の様子が異常な場合医師、もしくは看護師に連絡、連絡方法、連絡先はあらかじめ決めておく

救急法の受講

**感染予防**

1. 手洗い
2. 消毒
3. 手袋、ガウンの装着

### 患者接遇

生理検査室では、患者と接する時間が多く、かつ、会話しつつ検査を行う必要が多いことから、接遇訓練は特に重要である。

患者接遇の基本は「礼節」と「いたわり」であることを徹底して教育することが必要。「冷遇」と「不遜」は事故の元である。

### 事故報告の徹底

事故の記録と報告を習慣化することが必要

検査部患者安全推進委員会の設置

各部屋1人、10人で構成、月1回報告会

### 症例1. 76歳 女性

主訴: 歩行時胸部圧迫感

現病歴: H13年2月より歩行時胸部圧迫感出現。  
5月頃より軽労作にても胸部症状出現、  
階段歩行困難となり、当院受診。

冠危険因子: 高血圧

### 症例1. 76歳 女性 心電図

